



名古屋を目指した「京阪電気鉄道」

～太田光瀨の見果てぬ夢～

明治43(1910)年、天満橋-五条間を開業させ、都市間電気鉄道として誕生した京阪電気鉄道。現在は大阪と京都・滋賀を結ぶ鉄道ですが、戦前の発展期には和歌山にも路線を持ち、阪和電気鉄道、奈良電気鉄道へ経営参加するなど事業を拡大、そのほか多くの鉄道建設計画に参画していました。その一つ、名古屋急行電気鉄道は、当時の最新鋭列車、超特急「燕」が2時間47分で結んでいた大阪-名古屋間を、なんと2時間で結ぶという壮大な計画でした。当時の四代目社長、太田光瀨の見果てぬ夢、京阪電気鉄道の名古屋延伸計画について探ります。

2024年7月19日(金)13:30～15:30

◆場所：守口市中部エリアコミュニティセンター
会議室(守口市役所地下1階)

◆参加費：500円 ◆定員：40名

◆予約 ※7/6(土)予約開始

①お電話 06-6991-0318(受付9:00～21:00)

②ホームページ

③ご来館



ナビゲーター 前阪恵造

1957年大阪府生まれ

豊中市在住

なにわなんでも大阪検定 1級合格

大阪の超人 (1級5回合格)

大阪公立大学大阪検定客員研究員

(2016年～2023年)

大阪高低差学会 会員

大阪あそ歩 公認ガイド

主催：守口市中部エリアコミュニティセンター

守口市京阪本通2丁目5番5号 守口市役所地下1階 開館9:00～22:00